

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ことばの教室ことのは		
○保護者評価実施期間	令和 7年 2月 1日	～	令和 7年 2月 28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	35	(回答者数) 35
○従業者評価実施期間	令和 7年 2月 1日	～	令和 7年 2月 28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	10	(回答者数) 10
○事業者向け自己評価表作成日	令和 7年 3月 15日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	職員の人数を多めに配置することで子ども達に充実した支援が行えている。	◎子ども達の気持ちに寄り添いながら、一人一人の気持ちを引き出したり、主体的な取り組みができるようにしている。 ◎子ども達の「楽しい」気持ちを引き出し、自発的な言葉を引き出していく。	独自のツールを作成して子ども達の特性の理解を深めたり、職員間でより情報共有を行いやすくして、支援力の強化を図る。
2	保護者の気持ちに寄り添いながら、適宜情報共有を行い、子ども達の理解を深められるようにする。	◎日々の療育の申し送りをを行い、子ども達の事業所での姿や成長をしっかりと伝えていく。 ◎必要に応じてミーティングを行い、保護者へのアドバイスを通して、子供たちが前向きな気持ちを持てるようにする。	アセスメントシート等を使用して、より保護者との情報共有の機会を増やしていく。
3	自然に囲まれた高台にあり、虫取りや散策を行える環境にある。	◎散歩に行ったり近隣の公園にて身体を動かす等、その日の子ども達の気持ちに合わせて、自由に課外活動のプログラムを取り入れている。 ◎個別の取り組み以外にも、小集団での課外活動の中でルールのある遊びを取り入れ、社会性を伸ばす取り組みを行っている。	地域交流の一環ではないが、近隣の姉妹教室へ散歩をしながら訪問し普段関わりの少ない児童との交流を図り成長を図りたい。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	短時間での療育であり個々の活動が主であるため、集団活動が少ない。	個別活動での取り組みが充実している分、集団活動での取り組みが少なくなる。	◎短い時間でも、小集団での活動を取り入れることで、社会性の成長を促す。 ◎外部へお出かけしたり、地域のイベント等へ参加して、地域交流の機会を作る。
2	外部の研修参加が少ない。	研修に関する情報が少ない。	◎職員自ら参加したい研修等があった際には、会社負担にて研修を受講し、受講後には法人内に共有する様にしている ◎事業所で必要と考えられる研修がある際には、適正に応じて、職員に研修参加を促す。
3	1階が駐車場になっており、2階への階段乗降の際に多少の危険性がある。	送迎到着後に階段を職員1人で対応する場面が少なからずある。	送迎到着時等にて必要に応じて職員間にて連携を図り危険回避を図っていく。